

作品リスト



41 急須色々 (一ツ松 綾乃 作)
急須作りを初めて見たときは諦めようかとも思いましたが、今は楽しくて、もっと訓練していきます。



42 ♡ シリーズ 気持ち・心・想い (鈴木 麻莉子 作)
気持ち・心・想いが強ければ運命は変わる。そう信じて作りました。

資料館

番号	作品名	寸法 (h×w×d : cm)	作者
30	生	3×21×21 他2個	一ツ松 綾乃
31	死	4×23×23 他1個	一ツ松 綾乃
32	戦	4×30×30 他8個	一ツ松 綾乃
33	優	3×19×19 他3個	一ツ松 綾乃
34	独	7×12×12 他14個	一ツ松 綾乃
35	代理戦争・7匹の侍	7×47×47	一ツ松 綾乃
36	足引き、落とし合い	3×13×13 他4個	一ツ松 綾乃
37	戦、手をとって	5×15×15 他5個	一ツ松 綾乃
38	ヒトをどうする？	7×12×12 他5個	一ツ松 綾乃
39	山あり谷あり3パターン	2×11×9 他17個	一ツ松 綾乃
40	死んだ・眠る	5×16×16 他5個	一ツ松 綾乃
41	急須色々	12×13×15 他24個	一ツ松 綾乃
42	♡ シリーズ 気持ち・心・想い	27×25×10 (4個)	鈴木 麻莉子
43	今を生きる	12×12×6 (8個) / 6×6×12 (6個)	鈴木 麻莉子
44	今だ・ココだ・この人だ	360×180	鈴木 麻莉子



今回、2年間の研修を修了する33期生の4人の作品を展示します。2年間で講師の先生をはじめ、多数の作家の方々から学んだロクロ、手びねり、絵付け、釉薬などの技法や焼成方法を組み合わせて制作に励んだ集大成です。4人それぞれの個性が活かされた作品に仕上がっています。

ぜひ、ごゆっくりとご高覧いただき、ご意見ご感想などいただければ幸いです。

ここでの2年間があり 今の自分があることに感謝し生きていく —

そんな思いを込めて……。

とこなめ陶の森 陶芸研究所

〒479-0822 愛知県常滑市奥条7丁目2番地

開館時間 9:00~17:00

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始

<http://www.tokoname-toumori.jp>

Facebook ページ: [とこなめ陶の森 陶芸研究所](#)

お問い合わせ ☎ 0569-35-3970

✉ toumori@city.tokoname.lg.jp

本日は、お越しいただきありがとうございました。2年間お世話になった講師、関係者及びスタッフの皆様ありがとうございました。

第33期研修生一同

研修生プロフィール

一ツ松 綾乃 Ayano Hitotsumatsu

1983年 愛知県東浦町生まれ

2002年 愛知県立東浦高等学校卒業

2003年 中部大学応用生物学部環境科学科退学

2010年 名古屋デジタルアート専門学校ビジネス情報処理科卒業

陶芸を始めて2年、本当にまだまだですが今できることで全力を尽くしました。

生き物が好きで、その中でも生・死・戦・優・独が好きで、それを和紙染めで表現しました。まだ発見されてない生き物もいるはずなので、見たことのないものもあると思います。器の生き物から何か聞こえたら教えてもらえるとうれしいです。

とにかく楽しんでもらえたら幸いです。

平井 亮大 Ryota Hirai

1991年 静岡県生まれ

2010年 私立日本大学三島高等学校卒業

2015年 武蔵野美術大学 造形学部

工芸工業デザイン学科 陶磁専攻卒業

私は「今ここにしかないもの」をテーマに火や土の力強さを感じられる用途のある器物を制作しました。人は本来、「土」ともっと密接な関係にあったはずなので都会的な家庭にも少しでも「土」を取り入れてより人間らしい豊かな生活をしていただけたら良いなと日々考えています。

鈴木 麻莉子 Mariko Suzuki

1996年 愛知県知多市生まれ

2015年 愛知県立常滑高等学校セラミックアーツ科卒業

この世界の未来は…

動物が進化して人間になり人間が造り出した人工知能があふれる世界。せっかく手に入れたすばらしい感覚も失ってしまうのか…

生き物には終わりがあるからこそ五感を大切に、第六感を鍛えてもっと人間らしく私らしく「今」を精一杯生きたい。

そんな想いがあるから私は土を触る。

山田 勇太郎 Yutaro Yamada

1992年 愛知県常滑市生まれ

2010年 愛知県立常滑高等学校セラミックアーツ科卒業

2014年 大同大学工学部都市環境デザイン学科卒業

私は焼き物の町常滑に生まれ、父は製陶業をしている為、幼少期から土に触れ、焼き物に囲まれて育ってきました。常滑と言えば急須。しかしながら後継者のいないのが現状であり、急須づくりというのは私に与えられた使命だと思っています。

そして、伝統を残しつつ、伝統を生かした新しい急須づくりをしていきたいと考えています。

作品リスト



9 cold/hot series Bowl (平井 亮大 作)

緑色の食材がよく映える器をイメージして制作しました。



10 祝福 (山田 勇太郎 作)

お祝いをする際、この煎茶器を使用してお茶を飲んで頂きたい。

陶芸研究所

番号	作品名	寸法 (h×w×d : cm)	作者
1	cold/hot series Tea set	急須 12×10×10/湯冷まし 7×13×14/煎茶碗 7×8×8	平井 亮大
2	cold/hot series Liquor set	9×13×10/7×8×8	平井 亮大
3	cold/hot series Cup	10×10×10	平井 亮大
4	火色のある鉢	9×30×30	平井 亮大
5	火を感じる	6×23×23	平井 亮大
6	丸い壺	18×21×21	平井 亮大
7	ここに在る 1	41×35×35	平井 亮大
8	ここに在る 2	40×32×32	平井 亮大
9	cold/hot series Bowl	11×20×20	平井 亮大
10	祝福	急須 7×12×10/湯冷まし 6×10×10/煎茶碗 4×6×6	山田 勇太郎
11	洋梨茶器揃	急須 8×10×8/湯冷まし 7×7×7/煎茶碗 4×6×6	山田 勇太郎
12	大地	急須 7×14×7/湯冷まし 6×10×10/煎茶碗 4×8×8	山田 勇太郎
13	伊賀黒茶器揃	急須 5×12×11/湯冷まし 5×8×10/煎茶碗 4×8×8	山田 勇太郎
14	流水	急須 7×12×11/湯冷まし 6×10×10/煎茶碗 4×6×6	山田 勇太郎
15	爽快	急須 7×14×11/湯冷まし 6×10×10/煎茶碗 4×8×8	山田 勇太郎
16	白浜	急須 8×15×11/湯冷まし 6×10×10/煎茶碗 4×8×8	山田 勇太郎
17	感謝	急須 8×13×11/煎茶碗 6×7×7	山田 勇太郎
18	白泥藻掛急須	7×13×11	山田 勇太郎
19	山土急須	9×11×7	山田 勇太郎
20	伊賀黒急須	6×8×14	山田 勇太郎
21	藻掛急須	8×13×11	山田 勇太郎
22	火色急須	6×15×11	山田 勇太郎
23	裡急須	8×13×10	山田 勇太郎
24	青藻掛急須	7×13×11	山田 勇太郎
25	焼締急須	9×14×11	山田 勇太郎
26	窯変大壺	60×45×45	平井 亮大
27	窯変大壺	80×55×55	山田 勇太郎
28	窯変大壺	65×53×53	鈴木 麻莉子
29	窯変大壺	67×50×50	一ツ松 綾乃